

会 議 録

会議名	令和元年度 第2回福生市環境審議会	
日 時	令和2年2月5日（水）午前10時30分～11時45分	
場 所	福生市役所第2棟4階 議会会議室	
出席者	委員等	小倉会長、祖父江副会長、上村委員、原委員、横田委員、山下委員、千葉委員、野村委員、畠瀬委員
	事務局	久保生活環境部長、田村環境課長、守屋環境係長、名取環境係主査、(同席)小澤／環境自治体会議環境政策研究所
欠席者	田村委員	
議 題	議事 (1) 環境基本計画第2期中期実施計画等の改定に向けた調査結果について（環境に関する市民アンケート集計結果報告書(案)）	
公開・非公開の別	公開	
配布資料	「市民アンケート集計結果報告書(案)」	
会議内容	<p>1 議事</p> <p>議案1 環境基本計画第2期中期実施計画等の改定に向けた調査結果について(環境に関する市民アンケート集計結果報告書(案))</p> <p>アンケート集計結果報告</p> <p>1. 概要説明（環境自治体会議環境政策研究所）</p> <p>1. 市民アンケート概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市の環境の現状に対する市民の評価を明らかにすることで、第2期中期実施計画の達成状況を評価し、環境基本計画第3期中期実施計画及び第4次福生市地球温暖化対策実行計画の見通しを立てることを目的として実施した。 ・ 1,340人を対象に発送。回答があったのは396人。回収率は29.8%。 ・ 調査の直前、10月12日に令和元年東日本台風が日本に上陸し、市内に被害をもたらした。このことが回答に影響してい 	

と思われる箇所もあり、注意が必要である。

2. 分野別施策の満足度

分野1：自然の保全・再生（P4）

- ・ 「満足」している市民が多いのは、「公園の維持管理（55.9%）」、「川の自然観察など川に親しむ機会（54.2%）」、「樹林地などの保全（玉川上水沿いの緑など）（53.2%）」、「多摩川などの一斉清掃（多摩川河川敷、熊川分水）（52.7%）」である。これらは前回アンケートで、類似の項目で「満足」とした割合から、さらにポイントを伸ばしており、取り組みが進展したと評価できる。
- ・ 「不満足」な市民が比較的多いのは、「飼い主のいないネコへの対策（去勢・不妊手術費の助成など）（35.7%）」だが、前回アンケートで、類似の項目の「不満」の割合（50.5%）からポイントを減らし、取り組みは進展したと評価できる。
- ・ 取り組みの認知度が低いのは、「雨水の利用（雨水貯留槽の設置助成など）（知らない58.0%）」「湧水・地下水の保全（53.2%）」、「外来生物への対策（アライグマ・ハクビシン・クビアカツヤカミキリなど）（52.9%）」である。

分野2：潤い豊かな安心できるまちの創造（P5）

- ・ 「満足」している市民が多いのは、「福生らしい景観の保全（自然・歴史・文化）（63.5%）」、「花や緑のあるまちづくり（60.5%）」、「公共施設の緑化（55.2%）」、「道路上の捨て看板、不要な貼り紙などの撤去（54.4%）」、「玉川上水沿いの散策スポットの整備（54.4%）」である。これらは前回アンケートで、類似の項目で「満足」とした割合から、さらにポイントを伸ばしており、取り組みが進展したと評価できる。
- ・ 「不満足」な市民が比較的多いのは、「生活道路の安全化（51.1%）」、「ごみのポイ捨てや歩行喫煙禁止などの対策（49.9%）」、「商店街が実施するイベントや商店街のにぎわい（47.7%）」である。前回アンケートから類似の項目の「不満足」の割合が増えており、市民の目がより厳しくなっていると考えられる。
- ・ 取り組みの認知度が比較的低いのは、「熊川分水などの水路

の保全や水辺の環境整備（35.2%）」である。

分野3：暮らし方の変革・地球システムへの適合（P6）

- ・ 満足度が高かったのは、「ごみ・資源の分別方法（75.4%）」、「市内の空気のきれいさ（62.8%）」、「ごみ発生抑制のための情報提供（清掃だよりなど）（61.5%）」である。
- ・ 平成26年度のアンケートでは、これらと類似する項目の満足度は「ごみ・資源分別カレンダー（76.7%）」、「ごみ・資源などの分別方法（68.6%）」であり、ごみ・資源の分別収集システムに対する市民の高い評価が継続している。「市内の空気のきれいさ」については前回の36.5%から大きくポイントを伸ばしており、状況が大幅に改善されたと評価できる。
- ・ 「不満足」な市民が比較的多いのは、「航空機による騒音への対策（75.4%）」、「道路交通騒音・振動への対策（53.2%）」、「バス・電車など公共交通の利便性（47.8%）」である。前回アンケートから類似の項目の「不満足」の割合が増えており、市民の評価はより厳しくなっている。
- ・ 取り組みの認知度が低いのは、「省エネルギー・再生可能エネルギー機器の普及支援（49.6%）」、「家庭や事業所で取り組める省エネルギーや再生可能エネルギーの導入に関する情報提供（47.8%）」、「公共施設での省エネルギー、再生可能エネルギー（太陽光発電など）の導入（47.1%）」、「省エネルギー・低公害車の普及啓発（47.1%）」である。

新たな分野：暮らしの安全・安心の確保（P7～）

- ・ 第2期中期実施計画にはない新たな課題として、気候変動・気象災害に関わる項目を追加し、「気温の上昇に関する注意喚起（熱中症予防など）（258人）」、「豪雨、台風など気象災害への備え（ハザードマップの全戸配布や自主避難の受け入れなど）（244人）」は、「とても満足」「やや満足」の合計が多く、全分野の評価でも上位5項目の中に入り、高い評価を得ている。

3. 関心のある環境問題

問2（P8）で、どのような環境問題に関心があるかを尋ねた。

- ・ 関心が高い問題として多く選択されたのは、「地球温暖化（気候変動）（294人）」、「海洋プラスチックごみ問題（148人）」、「ヒートアイランド（都市の高温化）（147人）」、「エネルギー問題（120人）」、「外来生物による影響（109人）」である。

4. 家庭での省エネ行動

問5（P13）では、家庭でできるCO₂（二酸化炭素）の削減効果が高い省エネ行動について、取り組んでみたいと思うものを尋ねた。

- ・ すでに多くの家庭で取り組まれているのは、こまめにシャワーを止める（すでに取り組んでいる65.3%）、白熱電球をLEDに交換する（64.8%）、煮物をするときには落としぶたをする（62.3%）である。
- ・ 今後、多くの家庭で実施意向が高いのは、暖房の使用時間を1日1時間短くする（ぜひ取り組みたい・どちらかといえば取り組みたいの合計55.7%）、暖房時、室温の目安を20℃にする（52.4%）、冷蔵庫は季節に合わせて温度設定をする（51.4%）である。

5. たっけー☆☆サイクル（P15～）

問7では、たっけー☆☆サイクルの認知・利用状況や希望を尋ねた。

- ・ 問7-4（P18）では、たっけー☆☆サイクルの用途を尋ねた。「買い物」、「散策・運動（主に市内）」、「公共施設等への移動」が多く、利用するならば市内で日常使いというニーズがうかがえる。
- ・ 問7-2（P16）では、「知っているが利用したことがない」と答えた方のみ、利用したことがない理由を尋ねた。「自分で自転車を所有しているから（171人）」が突出して多く、利用したことがない回答者の88.6%が選択している。

2. 補足説明（事務局）

問7で「たっけー☆☆サイクル」に関する質問を設定したことについて

事業開始から8年目を迎え、広域連携や民間参入など今後の事

業の方向性を模索している。

平成 30 年度一般会計決算審査意見書において事業を継続するのであれば、事業の実施形態について見直しを行うように」との要望を受け、広く市民の意見を把握するため「たっけ一☆☆サイクル」に特化した質問を設けた。

サイクルシェアリングの設問も含めまして、本調査結果を令和 2 年度に改定する「環境基本計画第 3 期中期実施計画」の策定に際し、事業量の推計、目標量の設定など、計画の作成を検討する基礎資料とする。

【質疑】

(1) 調査方法、結果の取扱いについて

(委員)

若い人の回答が少ないとのことだが、ネットから回答できる仕組みを導入すれば回答率が上がるのでは。以前アンケートをしたときに若い技術者には評判がよかった。集計の手間も減る。

(委員)

今後の居留意志がある割合が高いようだが、福生に興味があって今後も住みたいと思っている方がアンケートに回答していると思われる。興味があるのに市の取り組みを知らない方が多い、とみることできる。

我が家にも調査票が届き回答したが、項目が多くまじめにやると時間がかかる。効率よく答えやすいように工夫したほうが良い。

答えた方に結果をどのように返すかがわからない。調査の依頼文には、このように公開するなどが載っていない。結果の公開をどう考えているか。

(事務局)

お願いの段階で結果に対するアナウンスはしていなかった。庁議に付議した後、ホームページに掲載予定である。

(委員)

ホームページは広く見ているとはなかなか思えない。ホームページを見てもらうための工夫も必要。

(事務局)

広報、情報コーナー、図書館など市民が手に取れるようなと

	<p>ころも考えている。</p> <p>(会長)</p> <p>広報で要約などが掲載できれば良い。検討してほしい。</p> <p>(2) 問1 市の環境施策への満足度について</p> <p>(委員)</p> <p>そもそも「取り組みを知らない」という回答が多い。知らないという市民を減らしていく取り組みをする必要がある。</p> <p>(委員)</p> <p>「航空機騒音への対策」については、市の取り組みではなく、航空機による騒音が多いことに対する不満ではないのか。対策までを考えて回答したものではないのではないか。</p> <p>(事務局)</p> <p>設問としては市の取り組みについて尋ねたものだが、音がうるさいことに対する不満も入ってしまっていると思う。</p> <p>(3) 問7 サイクルシェアリングについて</p> <p>(委員)</p> <p>サイクルシェアリングの方向性について検討が必要であることは理解したが、そもそも自転車利用を増やして温暖化対策に繋げるのが目的であったはず。自分で自転車を持っている人が増えていてシェアリングを利用していないのならば、ある程度目的は達せられたと考えられるのでは。</p> <p>(委員)</p> <p>福生は坂があるので電動自転車が楽だという話を聞いた。利用率は低いかもしれないが、年間500万円使っていた施策をやめることで浮いた経費を使って、田園地区と上をつなぐ移動手段について、障害者や高齢者の対策を考えることも入れていただけると良い。</p> <p>(委員)</p> <p>自転車を利用しているのは、小さい子どもがいる人と足の悪い方。サイクルポートを見ていると、子ども用の席がある自転車から使われている。社会的弱者が圧倒的に使っている。一度になくすとお母さんたちがとても困ると思う。配慮が必要である。</p> <p>(4) 自由記入（災害対策）について</p> <p>(会長)</p> <p>台風での対応が良かったという意見も寄せられているが、市</p>
--	---

	<p>としての対応は。</p> <p>(事務局)</p> <p>職員も召集を受けて全体で対応した。はじめての避難指示であり、ペットについては今後の課題として考えていくと担当課でも言っていた。市民に感想を伺った中ではおおむね好評であった。避難所運営については反省会を開催し、市民の意見も伺った。正確ではないが、11カ所程度の避難所で約1,600人程度を受け入れたと思う。</p> <p>(委員)</p> <p>放送が聞こえないというのがあり、放送で何を言ったかホームページで見ようとしたが、よく分からなかった。ホームページに防災マップは一応あるが、きちんと見るができなかった。他市ではアクセスが殺到して見られなかったと聞くがどうだったのか。</p> <p>(事務局)</p> <p>ホームページに情報を載せ、情報メールでもお知らせをした。聞こえなかったことについて、個別受信機の数を増やす、防災無線を聞こえやすく調整するなど対策の検討をしている。もろもろの反省が出てきており、全力で取り組むとしている。</p> <p>(会長)</p> <p>想定外の災害が今後も起こりうる。そのために考えることが必要。</p> <p>(委員)</p> <p>台風などがあると樹林地や街路樹の木が倒れることがある。市内にも大きな木が残っていることがある。安全を優先するあまり、伐りすぎてしまうことにならないか。枯損木の管理は当然必要だが切ってしまうとどんどん減っていく。アンケートでは緑の満足度は高いようだが、管理をしていくとどんどん減っていく。伐ったら植える、代替りのものを増やす努力していかないと、減る一方であることは気になる。</p> <p>(事務局)</p> <p>事務局として、公共施設へ都の苗木生産供給事業（無償）の情報提供をし、緑化推進に努めている。</p> <p>(委員)</p> <p>国交省の多摩川緊急治水対策計画（素案）が発表され、樹林</p>
--	---

	<p>地の管理も項目に入っていた。多摩川にはハリエンジュが多く、これを減らし自然の再生と河川の安全を両立することを期待しているが、住民が望んでいないような堤防の桜並木を切ってしまうなどのことも含まれるので、住環境と自然環境の調和も考えて安全性を高めることをしてほしい。防災に携わっている方は木の見分けがつかないことが多いなど、自然への認識がどれほどなのかと思うので、住民や周囲の方が注意されるのが良い。</p>
	<p>今後の予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実行計画は、本審議会の意見を踏まえ、庁議に付した後、市のホームページに掲載し公表する。